

学校だより

京都市立洛西中学校

平成19年4月12日

(第2号)

素晴らしい卒業式でした！

3月に入ってからの寒の戻りで肌寒かった今年の3月15日、平成18年度の卒業式が感動的な光景を織りなしながら挙行されました。卒業生たちの涙、涙・
・そして涙。学校への言いしれぬ愛着。友達との別れがたい惜別の情。3年間の様々な思いを胸に、卒業生たちは見事に巣立っていきました。

新年度を迎え、卒業生たちが築いてくれた本校の歴史と伝統を在校生の皆さんにも心に刻んでほしいという思いを込めて、卒業生代表、宇佐美真央さんの「答辞」を紹介します。

今日三月十五日は、三年生がこの洛西中学校の在校生として過ごす最後の日。私達は三年間という短いようで長い時間をこの洛西中学校と共に過ごし、歴史を刻んできました。

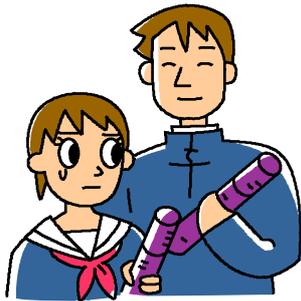
今思えば入学式の日が昨日のことのようです。一年生の時は入学したばかりで何も分からず、たくさんの先生や先輩に助けられました。しかし、助けられながらも、たくさんの失敗をし、しょっちゅう周りの人に迷惑をかけていました。



二年生になってからは自分たちが中心になって部活動や生徒会を動かし、初めて先輩であることの難しさを学びました。努力してもうまくひっばっていきことができなくて、後輩との関係や仲間との関係の中で、たくさん辛い思いをしました。時には自分自身に嫌気がさし、すべて投げ出したいと思ったこともあります。でも、あきらめないで頑張った良かったと今は実感しています。

三年生になり、ようやくしっかりとした自覚を持てたところで多くの行事を経験しました。修学旅行では貴重な体験をすることができ、これからの私達の生活にも役立つことでしょう。体育祭ではみんなでひとつになってより団結することができました。合唱コンクールでは互いの思いのちがいがから、もめることもありましたが、最後にはお互いを認め合い、各クラス立派な合唱をすることができま

した。その後、受験という初めての大きく、重要な壁を乗り越えるための戦いに挑むことになりました。今までやったことのない勉強量、また目標への道の遠さなどにとまどい、苦しみました。時には勉強を放棄したくもなりましたが、お互いに励まし合い、そこでとどまり頑張ることで、一步一步目標へ近づき、強い精神力を得ることができました。また、私達はこの三年間でお互いを思いやり、助け合うことを学びました。そして今、私達は自分たちの力で未来への扉を開けようとしています。しかし、私達が今、洛西中学校を無事卒業することができるのも、たくさんの人々の助けがあったからです。



教職員の皆さん、今までたくさん迷惑をかけたのに、いつも一生懸命に私達の面倒を見、心配してくださり、本当にありがとうございました。お父さん、お母さん、時には素直になれず反発して困らせることもありましたが、そんな私達の事をあたたかく見守り、今まで大切に育ててくださり本当にありがとうございました。そして、今まで苦しいことも、楽しいことも、一緒に乗り越えてきた三年生の仲間達へ。私達はもうこの学校と一緒に登校することはありませんが、みんながそれぞれ自分の道を一生懸命歩いていくことを信じています。もしかしたら、もう会うことのない人もいるかもしれませんが、でも、共に過ごしてきた三年間の大切な思い出と、ここで学んだ大切なことを忘れないでください。そしてどうしようもなく辛いときは洛西中学校での楽しかった毎日を思い出してください。私は今、洛西中学校でみんなと一緒に三年間を過ごせたことを本当に感謝しています。ありがとうございました。私達は進む場所が違って、ずっと仲間です。

在校生の皆さん、私達が部活動や学校行事などを楽しく過ごせたのは皆さんがいたからこそです。先輩と後輩という関係の中で、うまくいかないこともありましたが、学年の違いを乗り越え、みなさんとひとつになれた時の感動は忘れません。皆さんとは今日でお別れすることになりますが、私達の事も忘れないでください。短い間でしたが本当にありがとうございました。皆さんはこれから今まで経験したことのない困難にぶつかるでしょう。それでも、この洛西中学校の中心は皆さんです。学校を動かすのはあなたたちのやる気と団結です。よりよい洛西中学校を作るために、強い意志を持ち、頑張ってください。

これから私達にもいろいろな困難が待ち受けていると思います。もう同じ場所で足踏みすることはできませんが、どんな困難にも負けないように、何事もあきらめず立ち向かっていきます。

この学校は私の誇りです。そして洛西中学校が大好きです。本当に三年間ありがとうございました。